

第13回 医の倫理委員会議事概要

日時 令和2年11月9日(月) 午後4時～5時
場所 Zoomによるオンライン開催
出席者 17名中14名の委員が出席(自然科学の有識者9名、人文・社会科学の有識者4名、一般の立場1名)

議事

1. 新規使用計画「ヒトES細胞の未分化及び分化メカニズムの解析」(ES3-28)
使用責任者：遊佐 宏介 教授(ウイルス・再生医科学研究所)の審査について

遊佐教授の新規使用計画についてウイルス・再生医科学研究所長から審査の依頼を受け、本委員会内規に基づき審議を行った。

委員会は、審議の結果、一部修正のうえ、当該使用計画を承認した。

2. 委員長の交代について

委員長より、11月30日付けで委員長を退任したいとの申し出があり、了承された。本委員会内規に基づき、委員の互選により、次期委員長を決定した。

報告

1. 樹立計画「ヒトES細胞株の樹立と特性解析」(ES1-1) 樹立責任者：末盛 博文 准教授(ウイルス・再生医科学研究所)について

末盛准教授より、樹立計画について以下のとおり報告があった。

- ・前回委員会(令和元年10月21日開催)以降、令和元年12月にKthES14の樹立を、令和2年6月にKthES15の樹立を、文部科学大臣及び厚生労働大臣に報告した。
- ・樹立技術の改善により、昨年度のヒトES細胞樹立成功率は格段に上がった。
- ・新型コロナウイルスの影響を受け、今年に入り、提供医療機関における提供候補者への説明は実施できていない。また、臨床用樹立施設で使用する資材等の入手も困難になっている。

2. ヒトES細胞倫理研修会について

委員長より、前回委員会以降、令和元年度に英語版1回、令和2年度は現在までに日本語版2回が開催されたとの報告があった。

以上、閉会。